学校番号	416

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　新地理Ａ（帝国書院）　　地歴高等地図　（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グローバル化のなかで生きる私たち。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・地図帳等を積極的に活用し、自ら学ぶスキルを向上させる。
・ICT を積極的に活用し、生徒の理解を深める。
・グループワークなどを定期的に用い、生徒の主体性・判断力・表現力を養う。
・今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえ考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる社会人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追及する技能を身につける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	レポート課題	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	地球儀や地図で捕らえる現代世界	・球面で世界を考えよう ・世界地図の特徴を知ろう ・国家の領域と領土問題	○	○ ○	○ ○	○	a:グローバル化が急速に進んでいる現在では、平面で認識していた世界を、地球という球面で考えていかなければならないことを、地図を使った作業をとおして学習している。 b:メルカトル図法、正積図法、正距方位図法で描かれたさまざまな地図を地図帳やインターネット等を使って集め、その特徴と欠点を理解し、用途に応じた適切な図法を選択できるようになっている。領土問題を調べそれぞれの原因について考える。 c:国家とは何かを考える。また、さまざまな情報手段を活用して世界の領土問題について調べ、レポートにまとめる。それぞれの図法の特徴を調べまとめる。 d:人・もの・資本の移動意味より、国際貿易、国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解する。 d:球体を平面に表現することで生じるそれぞれの図法の特徴を理解する。	定期テスト ワークシート

	・世界の人々を取りまく地理的環境	・世界的視野から見た地形 ・世界的視野から見た気候 ・世界の気候と生活	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a: ・世界の人々の生活様式について，どのような特徴があるか，興味をもつことができる。 ・世界の自然環境ついて，なぜ現在のような分布になったのか，関心をもつことができる。 ・日本の自然環境について，世界の中で位置づけて，日本の地形や気候などに関心をもって学習することができる。 b: ・世界各地に現象面として現れる自然環境の地域性について，成因とから・世界各地に現象面として現れる自然環境の地域性について，成因とからめておおまかにとらえ，その地域の産業とも結びつけて考えることができる。 ・各気候帯の雨温図から，その地域の気候の特徴を読み取ることができる。 めておおまかにとらえ，その地域の産業とも結びつけて考えることができる。 ・各気候帯の雨温図から，その地域の気候の特徴を読み取ることができる。 c: ・図書館の本やインターネットから，世界の生活･文化を示した写真を探し，地理的環境との関連を読み取ることができる。 ・世界の衛星画像が閲覧できるアプリケーションソフトなど，ＧＩＳを用いて，世界各地の暮らしの様子を想像することができる。 d：なぜ世界にさまざまな地形や気候が見られるのかを理解し，さまざまな地形の上で見られる人々の生活環境や，気候区ごとの生活の特徴を，知識として身につけている。	定期テスト ワークシート

2	世界の諸地域の生活・文化と環境	・東の暮らしを学ぶ ・東南アジアの暮らしを学ぶ ・南アジアの暮らしを学ぶ ・北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ ・中南アフリカの暮らしを学ぶ ・ヨーロッパの暮らしを学ぶ ・ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ		○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 世界の人々は，それぞれの地域の環境の中で，どのように生活しているかについて，関心をもつことができる。 ・世界各地の生活と文化を考察して，異文化理解を深めるとともに，他者を，尊重し，世界の人々と交流を進めようとする態度が身についている。 b: ・世界各地での人々の生活は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを考察でき，その地域の産業や生活・文化などにも歴史や自然環境が反映されていることに，気づくことができる。 ・世界各地域の生活と文化を学習することによって，異文化摩擦などが起こっている現状に気づくことができ，日本の生活・文化を絶対視することなく，広い視野から異文化を理解し，尊重することが必要なことを考えることができる。 ・地域がかかえる課題や特徴を課題として調べ，結果を話し合うことができる。 c: 世界各地での人々の生活は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを考察でき，その地域の産業や生活・文化などにも歴史や自然環境が反映されていることに，気づくことができる。 ・世界各地域の生活と文化を学習することによって，異文化摩擦などが起こっている現状に気づくことができ，日本の生活・文化を絶対視することなく，広い視野から異文化を理解し，尊重することが必要なことを考えること。 d:東アジアの自然環境に育まれた生活・文化が，近年の経済成長によって変化していることを理解でき。将来の日本との関係について考察することができる。 ・東南アジアの自然環境や現在の民族・宗教分布とその背景をつかみ，高い経済成長を続ける地域の現状について理解することができる。 ・南アジアの自然環境と生活や，民族・宗教分布の背景をつかみ，その変化について，理解を深めることができる。 ・ヨーロッパの自然環境や文化、民族歴史的背景から現在の様子を理解する。 ・ロシアの自然環境や現在の民族や政治の関係について理解する。	定期テスト ワークシート

3	世界の諸地域の生活・文化と環境	・北アメリカの暮らしを学ぶ ・中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ・オセアニアの暮らしを学ぶ		○ ○ ○		○ ○ ○	a：現代世界の政治・経済の激動の中で，人々の生活や文化がどのように変化しているかについて，関心をもつと同時に，意欲的に学習に取り組むことができる。 b：・現代世界の国際化・情報化の進展などによって，その地域の生活・文化が大きな影響を受けている現実に気づくことができ，どのように変容しているかを考察することができる。 ・地域が抱える課題を理解し，さまざまな情報手段で調べた結果を，レポートなどにまとめることができる。 ・人々の暮らしを表す写真を読み取る中で，そこで営まれている生活の特徴から，自然環境や風土，産業といった生活環境まで見ることができる。 c：・図書館やインターネットなどから資料を調べ，地域性を知ることができる。 ・新聞やインターネットなどから最新の情報を集め，地域の変化を読み取ることができる。 d・北アメリカの移民社会と多文化社会の特徴をつかみ，ＩＣＴ産業に代表されるアメリカの先進性について，理解している。 ・中央・南アメリカについて，先住民と移民，混血の多いこの地域の全体像を知識として身につけている。	

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。